



穂 中 便 り

学校教育目標：知育・体育・徳育・経営
令和4年度 第9号 令和4年11月24日 むかわ町立穂別中学校

穂別中学校
ホームページ
QRコード



なぜ「学び」が必要なのか？



教 頭 佐々木 勤

11月7日（月）から13日（日）の1週間で、学習習慣の確立をねらいとして、穂別小学校と穂別中学校が連携を深め、家庭学習強化週間に取り組みました。具体的には、むかわ町内で共通に確認している各学年の勉強時間の目安に基づき、この期間中にどのくらいの割合の児童生徒が達成できたかを調査して記録する取組を行いました。下の表が本校の生徒の達成状況です。

学 年	7日(月)	8日(火)	9日(水)	10日(木)	11日(金)	12日(土)	13日(日)
第1学年(目安 80分)	88%	65%	76%	71%	88%	82%	82%
第2学年(目安 90分)	63%	71%	86%	71%	86%	71%	71%
第3学年(目安100分)	93%	86%	100%	79%	100%	100%	100%

この結果から、各学年で若干の意識の差があることが分かり、本校としましても、更なる学習習慣の確立に向けて、今後も様々な取組を行っていく必要を感じています。

それでは、なぜ人間には「学び」が必要なのか考えてみましょう。現代の社会は情報化やグローバル化などにより、加速度的に進展してきており、変化の激しい社会を生きるために必要な「生きる力」が求められています。

「生きる力」は、実際の社会で働き、生活するために役立つ基本的な知識や技能を習得した上で、未知の状況にも柔軟に対応できる思考力や判断力や表現力等を磨き、さらに、学んだことを自分の人生やよりよい社会のために生かそうとする姿勢を身に付けることで育まれると言われています。

この「生きる力」を育成するためには、日々の「学び」が重要となります。「学び」には学校での「学び」だけではなく、家庭や地域、日常生活の様々な場面での「学び」があります。あらゆる場面で「生きる力」は少しずつ育まれていきますが、十分に「生きる力」を身に付けるためには学校での「学び」を充実させる必要があり、家庭における「学び」の中心として、学校（授業）で学習した内容と関連付けた家庭学習を行うことで、下の表のような効果が期待できます。

<今回の取組のパンフレット>



<家庭学習の効果>

- ①決めた時間に学習に取り組む→②生活のリズムが整う→③学習習慣が確立する
→④自分の速度で繰り返し学習する→⑤学習内容が定着する→⑥分かる喜びを味わう
→⑦学ぶ楽しさを味わう→⑧学習意欲が育つ→⑨十分な「生きる力」が育まれる
→⑩自らの力で未来を切り拓く力が育つ

今回の家庭学習強化週間の取組が、お子様と学習についての話題を共有するきっかけとなれば幸いです。令和4年も残り1か月となり、我々教職員は気を引き締めて教育活動を推進します。今後も引き続き、本校の教育活動に御理解と御協力をお願いします。

令和4年度 むかわ町読書感想文コンクール

入賞者の紹介

本コンクールにおいて、本校から6名の入賞者が選ばれましたので紹介します。

- ＜中学校1年生の部＞
 【優秀賞】内海遥貴 【佳作】古幡凌空
 ＜中学校2年生の部＞
 【最優秀賞】太田小百合
 【優秀賞】菅原史織 【佳作】山崎響
 ＜中学校3年生の部＞
 【佳作】中條光

<今月の食指導>

今年度7回目の実施となった今月は、和食がテーマでした。日本の食文化が年中行事との関わりが深いことや、だしをとってうま味を上手に生かすことで長寿を保ってきた歴史について学習しました。この日の給食のメニューのさつまいもの味噌汁が、煮干しと昆布からだしをとっていることを知り、生徒達はよく味わいながら食べていました。



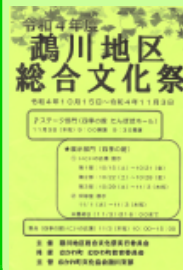
各学年で性教育を実施しました。

むかわ町地域振興課主任保健師の和泉リサ氏をお招きし、11月1日（火）に第3学年、4日（金）に第2学年、7日（月）に第1学年で性教育を実施しました。生徒の発達の段階に合わせて第3学年は異性との交際について、第2学年は思春期の心と体の変化について、第1学年は命の尊さについてを主な内容とした授業でした。どの学年の生徒も説明を真剣に聞き、性についての理解を深めていました。



広島平和の旅派遣事業報告会

11月3日（木）に四季の館たんぼぼホールにおいて行われた鶴川地区総合文化祭の中で、広島平和の旅派遣事業の報告会が実施されました。多くの方が見守る中、本校の代表3名（中條光さん、清川春奈さん、太田小百合さん）は、堂々とした態度で成果を報告していました。



AIRDO

11/8(火) AIRDO航空教室



11月8日（火）の5・6校時、本校の体育館を会場として、株式会社AIRDO（本社 札幌市）の5名のスタッフによる航空教室を実施しました。株式会社AIRDOは、平成21年度から道内各地の小・中学校で航空教室を実施しており、本校は昨年度末の募集に応募して当選し、実施する運びとなりました。この日は、航空整備士、キャビンアテンダント、パイロットがそれぞれの仕事の内容や職業観、やりがいなどを説明した後、機内におけるアナウンスの体験や飛行機が飛ぶ仕組みについての説明を行いました。最後に、生徒たちの質問に対し、スタッフからの質疑応答が行われました。生徒たちは、「航空関係の仕事に就くためにはどのような進路を選択すべきか理解できた。」、「この教室で学んだことを自分の進路選択に生かしたい。」などの感想を述べていました。

【航空整備士による説明】



【CAによる救命胴衣の着衣体験】



【パイロットによるアナウンスの体験】



<保護者の皆様へ>

11月28日（月）～12月2日（金）に第1・第2学年の二者懇談と第3学年の三者懇談を実施します。第1・2学年については、お子様の学校生活の様子や今後の学習と生活の在り方についての懇談を行い、第3学年については中学校卒業後の進路希望の確認を中心とした懇談を行います。お子様が健やかに成長するための有意義な機会にしたいと考えております。よろしくお願いします。

